

リリースノート

パッケージ一覧 : フルパッケージ

リリース日 : 2010年7月29日

製品 : DocAve® 5.5.2.0

新機能

- **SharePoint 2010 のサポートと機能強化**

DocAve の全モジュールが SharePoint 2010 と SharePoint Foundation 2010 をサポートするようになりました。以前のすべての DocAve 機能に加え、SharePoint 2010 の新機能にも対応するようになりました。その例としては、サイトの重要性設定や検索機能、そしてサイトや管理者の評価システムなどオペレーションサポートがあげられます。サポートされる SharePoint 2010 の機能に関しては DocAve ユーザーガイドの SharePoint 2010 のサポート機能一覧を参照してください。

- **スプロールコントロール機能の強化**

全体管理より AD 削除済みアカウントの整理と権限移行機能がファームと Web アプリケーションレベルにて行うことが可能になりました。また、適用業務ルールに基づいて孤立サイトが自動的に削除されるようになりました。DocAve リーガルホールド for SharePoint が強化され、より完全な環境のイメージを管理者に提供します。これにより、管理者は DocAve をより効率的に展開し、各機能を使用できるようになりました。

- **ベンチマークにおいてメディアサービスのパフォーマンスが大幅に改善**

AvePoint と 独立機関によるテストを行い、両テストにおいてメディアサービスのディスク I/O、バックアップとリストア ジョブ、そしてストレージ最適化機能のスピードが大幅に改善されたことを確認しました。レポートポイントにおいてもエージェントサービス間の平均スループットと通信スピードを表示し、環境のボトルネックを明らかにする新しいレポート機能を提供します。

バグ修正

- **IIS 再起動通知の追加**

ログレベル変更を行う際、IIS 再起動が必要となるため DocAve は関連のある IIS ログの詳細レベルが変更される時にそれをユーザに通知するように更新されました。また、IP アドレスのログ取得を有効にした際、IIS ログが取得できないという問題も修正されています。

- **フォームベース認証が SharePoint セキュリティセンターへ統合**

フォームベース認証で作成されたユーザを検索でき、管理センターのセキュリティセンターにてその操作を行うことが可能になりました。

- **展開マネージャーを SharePoint 2010 の Wiki ページで使用**

通常 SharePoint のページとは異なるページ構成で使用する Wiki ページはデザインマネージャーを使用して、サイトコレクションおよびサブサイトへ昇格・降格することが可能になりました。また、デザインマネージャージョブで新しいテンプレートを適用することも可能です。

- **ディスカッション掲示板のアイテム添付ファイルをバックアップ**

アイテムレベルのバックアップを行う際、個々のディスカッション掲示板のアイテム添付ファイルはバックアッププランに含むことができませんでしたが、DocAve 5.5.2 よりディスカッション掲示板の添付ファイルをバックアップそしてリストアすることが可能になりました。

- **PowerShell ファイルシステム移行プロセス改善**

DocAve 5.5.2 には以前のバージョンに比べ新たな機能とより強固な性能を持ち、PowerShell に基づいたファイルシステム移行ツールが盛り込まれています。

- **Internet Explorer の拡大レベルが 100% に設定されていない場合のビデオ閲覧**

メディアシェアライブラリ以前のバージョンにおいて、ブラウザーの拡大レベルが 100% でない場合、ビデオを再生することができませんでしたが、DocAve 5.5.2 においてこの問題は解決され、ブラウザーの拡大レベルに関係なくビデオを再生できるようになりました。

- **ネットワークロードバランシング環境における利用状況分析**

ネットワークロードバランシング環境に追加された新しいサイトコレクションがレポートセンターの利用状況分析レポートによって自動的に発見されるようになりました。

既知の問題

- **Microsoft Office SharePoint Server 2007でコンテンツマネージャーの“新規オブジェクトを含める”を使用したコンテンツ選択について**

コンテンツマネージャージョブに含むコンテンツを選択する際、選択したいレベル配下までコンテンツを含むサブノードのすべてが展開されていることを確認してください。選択された親レベル配下のツリー構造が完全に展開されていない場合には、サブノードのコンテンツが含まれない場合があります。

- **SharePoint Server 2007 環境でのデザイン マネージャーを使用したカスタム権限管理およびポータルサイトの公開**

展開マネージャーを使用してポータルサイトコレクションを公開する際、その他のすべてのコンテンツは移動することができますが、個人用リンクは現在展開することができません。また、サブサイト レベルでのカスタム権限はデザイン マネージャージョブを使用して展開することはできません。

- **Microsoft Office SharePoint Server 2007 環境でのサイトコレクション ポリシーおよび画像サムネイルのレプリケーションに関する問題**

SharePoint サイトコレクション ポリシーの構造上、サイト コレクション ポリシーを編集後に完全レプリケーションを新規で実行すると、エラーなしでジョブが終了しますが、移行先サイト コレクション上のサイト コレクション ポリシーにアクセスする際にエラーが表示されます。この様な状況を回避するには SharePoint Manager を使用して、常にサイトコレクション ポリシーを管理しておく必要があります。また、オフロード済みのフォルダーへアップロードされている画像をレプリケートする際には、画像のサムネイルはレプリケート対象外となりますが、ファイル自体は問題なくレプリケートされます。

- **Windows SharePoint Services 3.0 環境でセキュリティ センターを使用した制限付きアクセスのエクスポート・インポート**

管理センターのエクスポート・インポート機能を使用してエクスポートされた制限付きアクセスは、セキュリティ センター インターフェイス上で変更する必要があります。エクスポート・インポート機能ではこれらのユーザの権限を変更することができません。

- **Windows SharePoint Services 3.0 での DocAve リーガルホールドに関する検索制限**

現在、WSS 環境上で実行されたリーガルホールドの検索結果の対象は Web アプリケーションおよびサイト コレクション レベルに限定されています。

- **SharePoint 2010 環境でのスタンバイ センターによるミラーリング フェールバック使用不可**

SharePoint 2010 では、スタンバイ センターの SQL ミラーリングは使用できません。冗長性を保つには、ロギングをご使用ください。

- **Microsoft Office SharePoint Server 2007 環境での高度プラットフォーム リストア機能の制限**

以前のバージョンでは管理者はブロックデータサイズを増加するために zeus メディアのプロパティを編集していましたが、5.5.2 では、同操作を実行することができません。また、共有ポータル ルートサイトコレクションは、同じレベル上でのみリストアが可能です。万が一その他のサイトやサブサイトのレベルでリストアが実行されると、該当ページは開くことができなくなります。

- **Microsoft Office SharePoint Server 2007での Blob ストレージ トレンドに関する電子メール通知の送信不可**

現在、Blob ストレージのトレンドについては管理者宛に通知メールが送信されません。

- **アップグレード済みの環境でのストレージ最適化機能の実行**

Microsoft Office SharePoint Server 2007を SharePoint 2010にインプレースアップグレード、もしくは、DBアップグレードした場合に、APIが不安定になる現象を確認しています。その為、これらのアップグレード方式を使用した場合に、ファイルサーバー コネクタは現在使用することができません。